取扱説明書

オイルフリーミニコンプレッサ IS-976MB（モバイルタイプ）

●この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項、および取扱い方法について記載しています。

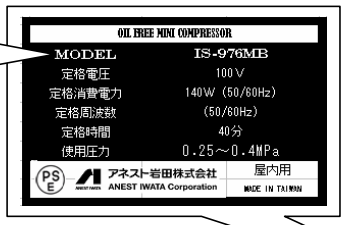
●ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

■ 現品確認・各部の名称

現品確認

形式がご注文通りか、現品を確認してください。
輸送中に変形や破損した個所がないか確認してください。

形　式

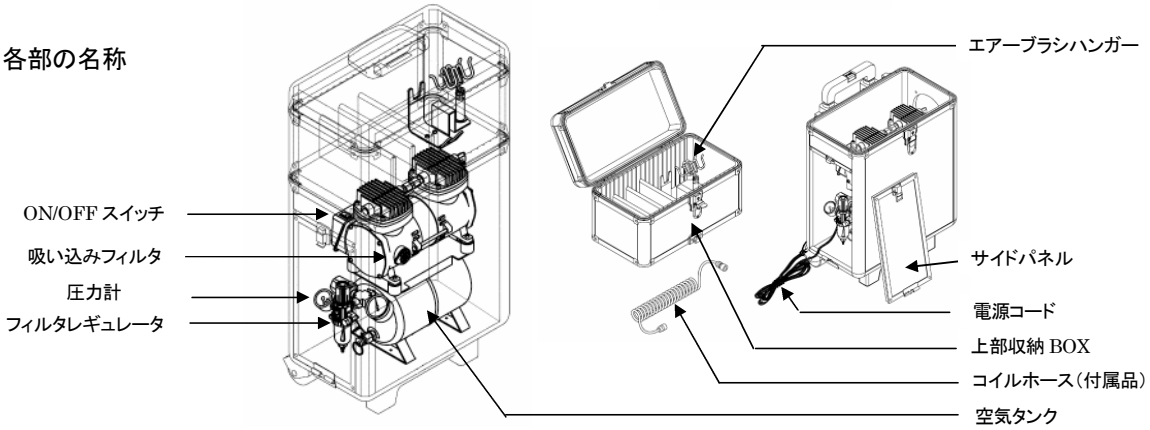


付属品の確認

付属品があるか確認してください。

◎取扱説明書　×1部　　◎コイルホース　×1本　　◎エアーブラシハンガー　×1ヶ

各部の名称



重要なお知らせ

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は、次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示例

	△記号は、「注意すべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。(左の例は、感電注意)
	⃠記号は、「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。(左の例は、接触禁止)
	●記号は、「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な指示内容を表示します。(左の例は、必ずアース線を接続してください)

■ 補足説明

お願い	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いたいただくために守っていただきたい内容を示しています。

■ 警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害および損傷については、当社は一切責任を負えませんのでご了承願います。

■ 本製品の保証について巻末に保証・修理サービスについて記載していますので、内容をご確認願います。

■ 安全上のご注意

ここに示した内容は、安全に関する重大な内容ですので、ご使用の前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。

⚠ 警 告	
爆発性ガス、引火性ガス(アセチレン・プロパンガスなど)、可燃物のない場所に設置する。 ※爆発・発火の原因となります。	安全な場所に設置する
点検時は、コンセントを抜くかブレーカのスイッチを切る等、必ず元電源を切る。 ※感電の危険があります。	電源の遮断
元電源が入った状態で回転部に手を触れない。 ※手が巻き込まれる恐れがあります。	接触禁止
アース配線を必ず行う。 ※感電や火災の原因となります。	アースを接続する
空気以外の気体の圧縮には絶対使用しない。 ※爆発・火災・破損などの原因となります。	空気以外のガスの圧縮禁止
圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器、または人命に関わる設備に使用しない。 ※人体に重大な傷害を与える危険があります。	使用禁止
エアーブラシ作業以外の用途には使用しない。	使用禁止
屋外に設置しない。 ※本製品は、耐水構造になっていません。電気系統に雨水がかかると漏電や火災事故を起こす恐れがあります。	使用禁止

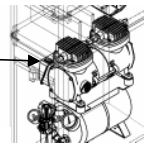
⚠ 注 意	
運転中や運転直後は圧縮機各部に直接手を触れない。 ※火傷する恐れがあります。	接触禁止
日本国内専用品です。 ※海外では電気仕様が異なるので使用できません。	禁止

お 願 い	
周囲温度が0℃～40℃(運転中)の場所で使用する。 ※0℃以下では、ドレンの凍結により、故障の原因となります。 40℃以上では、寿命低下や故障の原因となります。安全な場所に設置してください。	規定温度で使用する 安全な設置をする

■ ご使用方法

試運転

① サイドパネルを開き電源コードを取り出し、コンプレッサの電源スイッチが “OFF” になっているのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込んでください。(単相 AC100V)



③ 電源スイッチを “ON” にして圧縮空気が空気吐出口から吐出することを確認してください。その状態で5分程度試運転を行ってください。※異常音や振動がないか確認してください。

⚠ 警告

・ コンプレッサは、平坦な場所に設置してください。

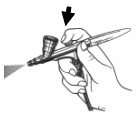
※傾いた状態で、運転すると重大な障害を引き起こす可能性があります。

・ 電源ｺｰﾄﾞは、直接コンセントへ差し込んでください。

※延長ｺｰﾄﾞの使用やタコ足配線をした場合は、電圧が低下し起動しないもしくは運転中に停止する可能性があります。

～ オートON／OFF機能の確認 ～

エアーブラシを接続し電源スイッチを“ ON ”にし、数秒後に運転が停止するか確認してください。また停止後、エアーブラシの押しボタンを押し圧縮空気を吐出させ、運転が再開するか確認してください。また、接続部分からのエアー漏れがないことを確認してください。



⚠ 注意

圧縮空気が吐出されない、または吐出されたがすぐに停止する場合は、減圧弁が完全に閉じていることが考えられます。その場合、圧力調整ノブを音がするまで引き上げ、時計回りに回して減圧弁を開放状態にしてください。

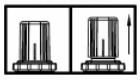
運転

①コンプレッサに、エアーホース・エアーブラシを接続してください。

②電源スイッチが “OFF” になっているのを確認し、電源コードをコンセントに差し込んでください。

③電源スイッチを ”ON” にしてください。

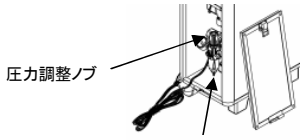
④作業を開始します。



エアーブラシハンガーは、図のように上部収納 BOX の側面に取り付けます。

～圧力調節方法～

吐出圧力は、レギュレータの圧力調整ノブにて調整します。圧力調整ノブを音がするまで引き上げ、時計回り(圧力上昇)，反時計回り(圧力下降)に回転させることで調整します。調整後は圧力調整ノブを音がするまで押し下げてください。



・水がたまった場合もしくは、作業終了時に上に押し上げるとドレンを排出することが出来ます。

⚠ 主意

エアーホース～エアーブラシはしっかりと固定してください。

※エアーホースの外れにより人体に傷害を起こす可能性があります。

・圧縮機本体の構造上、初めてご使用の場合は圧力調整ツマミを操作しても圧力が上昇するまでに時間が掛かる場合があります。

・運転中は、操作部以外は手を触れないでください。

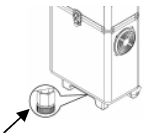
※火傷する恐れがあります。

・運転中に異常音(カンカン音、通常と異なる音)、異常振動が発生した場合は、直ちに本機の運転を停止し、原因を取り除いてから運転を再開してください。

運転終了

①コンプレッサの電源スイッチを “OFF” にしてください。

②空気タンクのドレン排出口を開き、圧縮空気とドレンを完全に吐き出してください。または、フィルタレギュレータの排出口を下から上へ押し上げ圧縮空気とドレンを完全に抜き取ります。



⚠ 注意

・圧縮空気を吐き出すときは、エアーブラシを人体に向けないでください。※目や皮膚の炎症、人体への危険があります。

・ドレンの排出は、コップ等を用意し行ってください。※ドレンが飛散し、回りを汚す可能性があります。

■ 保守

コンプレッサを常にベストの状態で使用し、長持ちさせるために保守項目を定期的に行ってください。

保守項目	整備時間		保守要領
	毎日	100hr 毎または、半年	
作動確認	○		ご使用方法　参照(3頁)
オートON/OFF機能の作動確認	○		ご使用方法　参照(3頁)
異常振動・異常音	○		故障の原因と対策　参照(4 頁)
吸込フィルタ		○	エアー吹きで掃除してください。

■ 分解上の注意

⚠ 警　告

電源コードをコンセントより抜く等、必ず元電源を切ってから作業を行う。※急に運転状態になり人体に傷害を与える危険性があります。

コンプレッサ内の圧縮空気を完全に吐き出してから作業を行う。※分解時、部品が飛び人体に傷害を与える危険性があります。

■ 故障の原因と対策

●万一、異常が起こった場合、次表を参考に対応ください。

対策欄の※印は、販売店または当社営業所で処理することが望ましい内容となります。

故障の状態	原因	対策
電動機が廻らない	電源が入っていない	電源を入れる
	保護装置の作動	電源スイッチを切り、圧縮空気を抜いてから約 15 分後に再び電源スイッチを入れ直して下さい。
	電圧が低い	※電力会社に相談してください。
	圧縮機本体の焼付け	※修理
	圧力スイッチの不具合	※ 修理
圧力が上がらない、または圧力の上昇に時間がかかる	各締付部・配管部の漏れ	締め増し、または部品交換
	フィルタの詰り	フィルタをエアー吹きで清掃してください。
異常音、異常振動がする	据え付け不良	水平に据え付け（4脚を設置）
	圧縮機本体内部の磨耗	※修理
	部品の緩み	増し締め

※ モータ保護装置が作動する主な原因

●定格時間（40 分）を越えて運転した場合。

●低電圧でコンプレッサを起動もしくは運転させた場合（延長コードの使用やタコ足配線も含まれます）

●密閉した状態での使用、周囲温度が高い等、冷却効果がない状態で運転された場合

■ 保証・ 修理サービス

・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。

・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店またはアネスト岩田コーティングサービスまでご連絡ください。

保証期間中は、無償修理いたします。

・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんのでご了承願います。

・次の場合は保証期間内でもお客様のご負担（有償）になります。

・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷
・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
・消耗品の交換・修理
・天災、地変、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷
・純正部品以外の部品が使用されている場合
・指定の修理店以外による修理がなされている場合
・エアーブラシ以外の用途に使用した場合

・本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償は致しませんのでご了承願います。

・保証は日本国内においてのみ有効です。

【お問い合わせ窓口】

◆ 修理・保守に関するお問い合わせ
アネスト岩田コーティングサービス株式会社 （お問い合わせ先は当社ホームページをご確認ください）

◆ 技術的なお問い合わせ、ご意見、ご希望など当社支店・営業所又はお客様相談室までご連絡下さい。
（支店・営業所のお問い合わせ先は当社ホームページをご確認ください）

お客様相談室

フリーダイヤル ： 0120-917-144

※携帯電話・PHS からもご利用いただけます。

（受付時間:月～金 9:00～17:45 土・日曜、祝祭日、夏季休暇、年末年始を除く）

FAX ： 045-591-1137 （受付時間外用）

上記のお問い合わせ先は変更される場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

アネスト岩田株式会社
ANEST IWATA Corporation
〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176

No. T222-02
ｺｰﾄﾞNo. 08303241

和文取説は、裏面にあります

Instruction manual

OILFREE MINI COMPRESSOR IS-975MB

●This instruction manual include important warnings, cautions for safe operation.

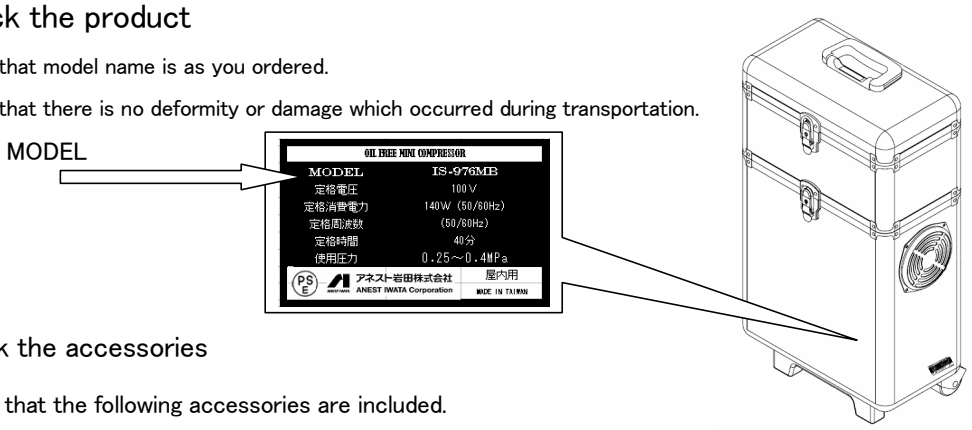
●Before operation, be sure to read this instruction manual and store it in a convenient place for immediate and future reading.

■ Check the product and major components

Check the product

Check that model name is as you ordered.

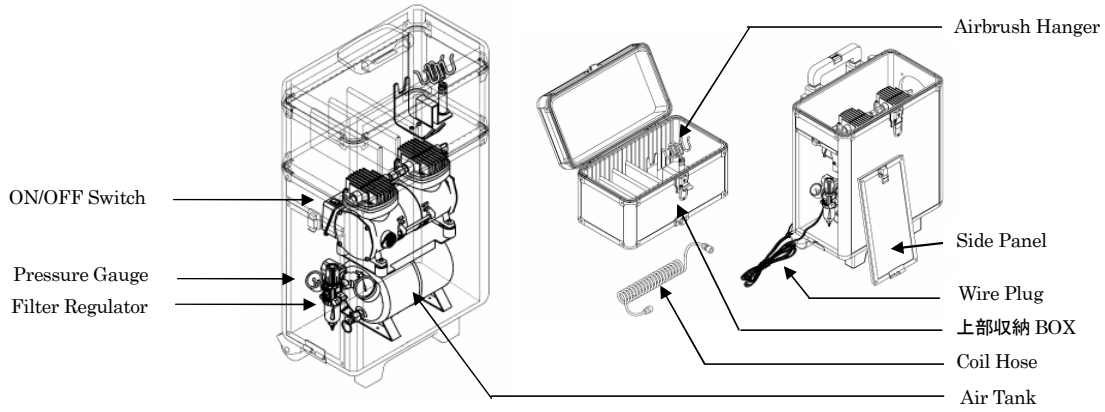
Check that there is no deformity or damage which occurred during transportation.



Check the accessories

Check that the following accessories are included.

◎instruction manual × 1pc . ◎Coil hose × 1pc ◎Airbrush hanger × 1



Safety precautions

Below is important information regarding safe operation. Before operation, be sure to read and understand the contents.

⚠ WARNING

Install in an area which is free of volatile or flammable gases (acetylene, propane, etc.). ※They can cause explosion or fire.	 Install in a safe area.
Be sure to turn off main electric source by pulling out electric plug or turning off switch of breaker before inspection. ※If not, it can cause electric shock.	 Turn off electric source.
Never touch turning section while main electric source is turned on. ※If done, hands can be entangled.	 Do not touch
Be sure to ground. ※If not, it can cause electric shock or fire.	 Connect ground wire.
Never use to compress gases other than air. ※If done, it can cause explosion, fire or damage.	 Never use to compress gases other than air.
Never use with respiratory equipment or life support system which directly draws in compressed air. If done, it can be harmful. SAFEGUARD must be used for such equipment.	 Never use with respiratory equipment
Not recommended for use other than airbrush application.	 Airbrush only
Never install outdoors. ※The compressor is not of water-proof construction. If water comes in contact with electric equipment, it can cause short-circuit or fire.	 Never install

⚠ CAUTION

Do not directly touch any section of compressor during operation or soon after operation. ※If done, it can cause burns.	 Do not touch

CAUTION

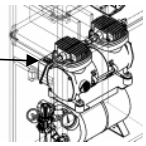
Use at ambient temperature of 0℃～40℃(during operation ※Drain will freeze at less than 0℃ and cause failure More than 40℃ will cause shorter lifetime or damage. Install in a safe area.	 Use at designated temperature Install in a safe area.

How to operate

Test operation

① **First confirm that electric source switch of compressor is turned “ OFF ”, and then insert electric cord into electric outlet.**

ON/OFF Switch



I ← ON
○ ← OFF

②Turn on electric source switch “ ON ” and confirm that compressed air comes out.

・Operate for about 5 minutes under these conditions.・Check that there is no abnormal sound or vibration.

⚠ WARNING

・please plug electrical cord directly to the electric outlet.

※Use of extension cord will cause low amp draw and can cause motor to stall. Please refrain from using an extension cord.

～ Check automatic ON/OFF function ～

Connect air hose and air brush to air outlet, and turn electric source switch “ ON ” and check that it stops operation in a few seconds.

・After it stops, push button of airbrush to exhaust compressed air and check that it restarts operation.

Check that air does not leak from connection.

Push button to exhaust compressed air

⚠ CAUTION

When compressed air does not come out of compressed air stops coming out soon even if it comes out, air regulator may be completely closed.

In that case. pull pressure adj. knob upwards till sound is heard and turn it clockwise to keep air regulator opened.

Operation

エアーブラシハンガは、図のように上部収納 BOX の側面に取り付けます。

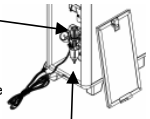
① Confirm that electric source switch is turned “ OFF ” and insert electric source cord into electric outlet.

② Turn electric source switch “ ON ”.

③ Operation will start.

音がするまで引き上げ回転させる

圧力調整ノブ



ドレン排出口

・水がたまった場合もしくは、作業終了時に上に押し上げるとドレンを排出することが出来ます。

～Pressure adjustment～

Adjust exhaust pressure by both air regulator and pressure adj. knob. Pull pressure adj. knob upwards till clicking sound is heard and turn it clockwise (pressure increases) or counterclockwise (pressure decreases). After adjustment, pull pressure adj. knob downwards till clicking sound is heard.

⚠ CAUTION

・Firmly attach coil hose and airbrush. If not, disconnected air hose can cause injury.

・Do not touch anything other than operating section during operation. If done, it can cause burns.

・If abnormal sound (clanking sound) or abnormal vibration occurs, immediately stop operation and remove abnormality and restart operation.

End of operation

After operation ends, turn electric source switch “ OFF ” and keep pushing button of air brush and completely exhaust compressed air inside compressor. Push drain outlet of filter ball upwards from the bottom and completely exhaust compressed air and drain.

⚠ CAUTION

When exhausting air, exhaust air away from humans.

※may cause skin irritation.

空気タンクのドレン排出口

コンプレッサ底部にあります。

作業終了時に反時計周りに回すと圧縮

Maintenance and inspection

Do the following items periodically to use compressor in the best condition.

Inspection items	Maintenance time		Contents
	Daily	every 100hours or every 6 months	
Check operation	○		Refer to 3. How to operate (page3)
	○		Refer to 3. How to operate (page 3)
Abnormal sound or vibration	○		Refer to 5. Problems and remedies (page 4)
Intake filter		○	Clean filter by blowing air.

■ Precautions about disassembly

⚠ WARNING

Be sure to turn off main electric source by pulling out electric source cord from electric outlet before doing maintenance and inspection.

※If not, sudden operation can cause injury.

Completely exhaust compressed air inside compressor before doing maintenance and inspection.

※If not, flying parts can cause injury during disassembly.

Problems and remedies

●If some problem occurs, refer to the chart below.

The asterisk※marked items in the "remedies" column indicate problems which are difficult for the user to handle. In such case, contact the shop which sold it to you or our local agent.

Problems	Causes	Remedies
Motor does not operate	Electric source is not turned on.	Turn on electric source.
	Safeguard activates.	Turn off electric source switch, exhaust compressed air and turn electric source switch on again in about 15 minutes.
	Voltage is low.	※Contact local electric company.
	Seizure of compressor	※Repair.
Pressure does not rise or it takes time for pressure to rise	Air leaks from each connection and piping.	Tighten or replace parts.
Abnormal sound or vibration	Placement failure Wear inside compressor Parts are loosened.	Place evenly (Install on 4 legs) ※Repair Tighten

※Main causes for activating motor safeguard.

●When, operating compressor more than 40min (rated-time)

●When, starting or operating compressor with low voltage.
(Including usage of extension cord and/or multiple-tap)

●When, operating compressor with no cooling effect such as high ambient temperature and /or being hermetically closed.

Please contact your local Anest Iwata agent for inquiries.

アネスト岩田株式会社
ANEST IWATA Corporation
3176, Shinyoshida-cho, Kouhoku-ku, Yokohama 223-8501 Japan

No. T222-02
ｺｰﾄﾞNo. 08303241